

第60回宮城県芸術祭参加 「文学散歩」  
旅のテーマー『奥州とキリシタンの里を訪ねる』  
**参加者募集**

公益社団法人宮城県芸術協会  
「文学散歩」実行委員会

**期 日**：令和5年10月5日（木）（雨天開催）  
**費 用**：18,000円（交通費・昼食代・拝観料など込み）→お申し込み後、振替用紙を送付します。（※旅行日前日及び当日のキャンセルは旅行代金の半額、無連絡不参加は全額のキャンセル料となりますのでご注意ください。）  
**募集人員**：40名（先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。）  
**集合場所**：仙台駅東口バスプール（8：00まで集合・8：15出発）  
**応募締切**：9月13日（水）

コース・訪問先

仙台駅→後藤寿庵廟堂→藤原の郷→正法寺→大籠キリシタン殉教公園

- ・寿庵廟堂—寿庵は伊達政宗の家臣、現奥州市を治めた領主。政宗の信頼も厚く領民のためにも尽力。また伊達家家臣団の鉄砲隊の指揮者として活躍。一方敬虔なキリシタン信徒であり支倉常長のローマ派遣の仲立ちの役を担ったと伝えられている。
- ・藤原の郷—「歴史公園えさし藤原の郷・レストラン」で昼食（夢衡御膳）。
- ・正法寺—国指定重要文化財である正法寺。南北朝時代に開創された日本最大級の茅葺屋根の大きな寺。かつては永平寺、総持寺と並ぶ奥羽二州の本山として発展。伊達藩から格別の待遇を受けていたという東北地方で最も重要な寺院。
- ・大籠キリシタン殉教公園—江戸時代のはじめ、300人を超すキリシタンが一関市藤沢町大籠の地で殉教した。いかなる迫害にも屈せず信仰の道を守り抜いた人々を顕彰するため、「大籠キリシタン資料館」遊歩道に「十字架の道行」を設置。高台の「クリス館」には彫刻家・舟越保武作品とメッセージ。（310段を登って鑑賞）

お申し込み先→公益社団法人宮城県芸術協会（平日9：00～17：30）

TEL 022-261-7055